

# 福祉体験学習



6月21日、神石高原町社会福祉協議会の「福祉教育メニュー」として、庄原市に在住の車いす生活をされている方をゲストティーチャーとして来ていただき、「車いすのこと」や「車いすの補助の仕方」などについて教えていただきました。子どもたちは、今回の学習を通して、「車いすの使い方」を学んだだけでなく、これからの自分の考え方や生き方まで学ばせてもらいました。

(たくさん質問をして、教えてもらいました。)

- スーパーとかで買い物をするとき、困ることはありますか。  
店の中に 車いすで入られるのですか。
- 坂を上ったり、下ったり、階段があるときはどうされるのですか
- 車いすを使っていて、困ると感じることはありますか。  
大変なことは何ですか。
- 車いすを使っていて、楽しいと思われることはありますか。
- 周りの人に車いすについてどんなことを知っておいてもらいたいですか。



実際に車いすを押したり、乗ったりして「補助の仕方」について、体験学習をしました。



「段差があります」  
補助は、声をかけながらするように！

←段差のあるところは  
乗っている側はこわいので  
特に気をつけました。

一人で無理な時は協力しあって！

## 学習を終えて

私は、この学習を通して、車いすに乗っている人が「どうしてくれたらうれしいか」ということがよく分かりました。それは、声かけです。「動きますよ。」の声かけも大切ですが、「だいじょうぶですか?」「手伝いましょうか?」などの声かけが一番うれしいことだと分かりました。

これから、私はいろいろなところに出かけたとき、車いすに乗っておられる方や目の不自由な人が困っている場面に出会うかもしれません。そういうときに声をかけたり、手伝ったりできるようになりたいです。

**大切なことを学ばせてもらった福祉体験学習でした。**

